

石油連盟の産業保安に係る活動について

石油の力。



1. 製油所の安全確保策に関する検討会について

- 昨年8月、石油連盟は、製油所でのトラブルが頻繁に発生している状況を踏まえ、「製油所の安全確保策に関する検討会」(議長:石油連盟環境安全委員長(昭和シェル石油岡田智典常務執行役員))を設置
- 同検討会において、製油所における安全確保の向上に係る対策に関し、行政、有識者を交えて検討を行い、3月末に検討結果をとりまとめ(概要以下)

安全確保に関する基本的な考え

石連加盟各社 ⇒ 自主保安の考えのもと適切に保安活動を推進

情報

石油連盟 ⇒ 事故事例水平展開活動等により各社の安全活動を支

過去事例の分析結果と対応

【分析結果】

オフサイト地区における漏洩防止が重要であることを確認

【対応】

- ・腐食等設備管理対応
- ・ヒューマンエラー防止
- ・手順書・マニュアル等整備

事故事例水平展開活動の充実

【分析結果】

- ・事故情報内容不足
- ・事故情報説明会の頻度不足
- ・安全管理活動の情報不足

【対応】

- ・事故情報内容の充実化
- ・ニーズに応じたタイムリーな事故情報説明会
- ・各社の安全管理活動情報の共有化
(→「安全管理活動情報連絡会」の新設)

全社的な安全・法令遵守の再徹底および従業員の安全教育

【安全・法令遵守】

- ・経営層と現場の意思疎通
- ・監査機能の再確認
- ・第三者的視点の活用 等

【安全教育】

- ・若手オペレーターによる手順書見直し
- ・ベテランオペレーターの技術・知識の活用
- ・情報整理とインフラ改善 等

継続的にフォローアップを実施

以上